

平成28年度 岡山県福祉職員生涯研修受講の手引き

この手引きは福祉職員生涯研修の目的、構成を理解して頂き、研修効果を高めるために作成したものです。研修申込にあたり、事前にご理解いただき、計画的に受講していただきますようお願いいたします。

■福祉職員生涯研修（以下、「生涯研修」）の目的

業種・職種に係わらず、あらゆる職員に求められる知識や技能の習得をねらいとしています。具体的には、次の二つの領域を対象としています。

- ①生涯研修では福祉職員として最低限理解しておくべき基本的な知識やサービスの原則（専門性）
 - ②組織人・職業人として求められる、組織活動を円滑かつ効果的に進めるための知識・技術（組織性）
- ※業種、職種別に求められる固有の専門性については、生涯研修では対象としていません。

《生涯研修で取り扱う内容の範囲》 ※網掛けの部分を対象とします

【業種・職種固有の専門性】	【組織性】 組織活動の遂行／問題解決／課題形成 コミュニケーション／チームワーク・リーダーシップ／能力開発等
【福祉職員共通の専門性】 基本理念／サービスの基本原則等	

■生涯研修の構成

経験年数や役職に応じて「新任職員」「中堅職員」「指導職員」「管理職員」の4つの立場を想定して、コース設定し、全コースが共通の科目を持ち、ステップアップ方式で学ぶ内容となっています。

階層	受講対象者	研修で学ぶ主な内容
新任コース ↓	職務経験2年未満	①福祉の理念 ②組織活動の基本と仕事の進め方 ③チームワークの基本 ④コミュニケーション
中堅コース ↓	職務経験2年以上で主任、リーダー等の役職にない者	①求められる福祉実践 ②職場の課題形成 ③チームワークの促進とメンバーシップ ④職場における能力開発
指導コース ↓	主任、リーダー等の役職にある者	①組織活動とマネジメント ②メンバーシップ・リーダーシップ ③職員指導・育成の展開 ④これからの自己開発
管理コース	施設長、副施設長、事務局長等の運営管理職員	①福祉経営の方向と運営管理職員の責任 ②運営管理職員の役割行動 ③管理職員に期待されるリーダーシップ ④全所的組織活動の管理と問題解決・課題形成 ⑤環境適合のマネジメント ⑥人材アセスメント ⑦人材育成の進め方とキャリアパスの重要性

■より効果的な受講のために

研修受講前の動機づけと受講後の評価を行うことにより、研修効果を確認してください。

- ①受講目的の明確化・・・受講にあたり、受講者と派遣施設・法人は受講目的を明確にし、共有してください。（「事前アンケート」にご記入いただき、その内容を共有してください。）
- ②受講後の振り返り・・・受講者は、受講後の気付きや課題、今後の取り組み等、研修で作成したシート等を活用し復命を行ってください。
- ③受講後の評価・・・○派遣施設・法人は復命内容や受講者の変化等、研修効果を確認してください。
○研修において作成する「キャリアデザインシート(挑戦目標とアクションプラン)」は、受講者の育成・支援にご活用下さい。